



学校目標 **みずから学ぶ とともに創る たくましく生きる**

目指す生徒像

主体的に学び続ける生徒 仲間や先生と共働できる生徒 壁を乗り越えるたくましい生徒

「子どもに発し、子どもに還る」

～やわらかく あたたかく しなやかに～

確かな学力向上

- 1 教師の授業力を高める
 - 「自ら学び、ともに伸びる生徒の育成」
 - ・「授業実践ウィーク」の実践。
 - ・授業を見合い、生徒理解を深め授業改善のヒントを共有する。
 - ・授業評価を活かした授業づくり。
 - 「主体的・対話的で深い学び」
 - ・授業がもっとよくなる3観点「ねらい、めりはり、見とどけ」を意識した授業展開。
全校集会での目的の確認。
学習問題の明示
信州型UDの活用
合理的配慮の実践
グループやペアで協働して学び合う場の設定
タブレットの活用（ICT）
 - 学びの場づくり
 - ・全校朝読書で気持ちを整えるとともに、活字に親しませ、豊かな読書体験につなげる。
 - ・学習支援ボランティアによる学習支援の実施
- 2 家庭学習の充実
 - ・『TUNAGARU』を活用した宿題スタートタイムの充実
 - ・家庭学習の質と計画性の向上

豊かな心の醸成

- 1 人権同和教育の推進
 - ・すべて 教育活動に人権尊重の視点を取り入れ、生徒一人一人が位置づく学校づくり。
 - ・学年ごとに「人権宣言」の作成。
- 2 「特別の教科 道徳」の確実な実践。
- 3 特別支援教育の充実
 - ・通常学級の個別の支援計画作成、職員研修の実施
 - ・通級指導教室の運営
- 4 生徒会との連携
 - 生徒会活動の3本柱
 - ・清掃
「雨音が聞こえる清掃」（黙想 ひざつき清掃：身支度・時間いっぱい・無言清掃）
 - ・合唱
「心と歌声のハーモニー」（音楽会、3年生を送る会、卒業式での合唱づくり）
 - ・地域貢献
「地域に歩みだす」福祉、奉仕活動・クリーンキャンペーン・総合的な学習との連動等）
 - あいさつを交わし合う学校
生徒会、青少年ネットワークと連携したあいさつ運動
- 5 不登校傾向生徒への支援
 - ・多様性を認める学年学級作り
 - ・個別支援とチーム支援（支援員・相談員・生徒不適應加配教員等）
 - ・小中連携、保護者や外部機関との連携

心身の健康と体力向上

- 1 健康で笑顔あふれる生活のための保健指導の充実
 - ・性教育（命の学習）・薬物乱用防止教育の推進
- 2 食育、給食指導の推進
 - ・食事についての正しい理解と望ましい習慣形成
 - ・給食を通して社会性を養う
 - ・地産地消、伝統的な食文化についての理解
- 3 保健体育科での体力向上「運動が好き」「短距離走」をさらに伸ばす。
 - ・発達段階にあった筋力アップトレーニングの工夫。
 - ・健康教育を意識した保健指導
- 4 キャリア教育を意識した総合的な学習の時間の探究的学習の計画・推進、全体計画の見直し
- 5 活気ある充実した部活動
 - ・計画的な活動、基礎体力作り、チームワークとリーダーシップ 健全な先輩後輩づくり。
 - ・全校の規範となるあいさつ、規律ある生活。
 - ・地域や他校との連携を強化することによる持続可能な部活動の運営。

【数値目標】 「ややあてはまる以上の評価」について

- 学校評価アンケート「学校が楽しい」を90%以上にする。
- 授業評価アンケート「学校で好きな授業がある」を90%以上にする。
「授業の内容がわかる」を90%以上にする。